

感染症情報 6月16日～22日

府下小児科186医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	1,160例(堺市	65例)
②伝染性紅斑	537例(堺市	44例)
③溶連菌感染症	321例(堺市	42例)
④咽頭結膜熱	191例(堺市	19例)
⑤手足口病	149例(堺市	13例)

府下292医療機関(堺市25)から

インフルエンザ 66例(堺市 4例)

報告数による順位。前週比9.1%増の2,625件。感染性胃腸炎は府下で前週から2%増、堺市で前週58例→今回65例。伝染性紅斑が府下で34%増、堺市で前週43例→今回44例。溶連菌感染症が府下で13%減、堺市で前週38例→今回42例。咽頭結膜熱が府下で5%増、堺市で前週8例→今回19例であった。手足口病が府下で51%増、堺市で前週10例→今回13例であった。

インフルエンザが府下で前週47例→今回66例は40%増。堺市は前週・今回とも4例であった。全数把握疾患の百日咳は大阪府で89例→104例は17%増、堺市は3例→0例であった。今年に入ってから府内の累積報告数は1,738例となった。

府下292医療機関(堺市25)から

新型コロナウイルス感染症 304例(堺市 41例)
大阪府定点 1.04 堺市定点 1.64

新型コロナウイルスの定点報告は、府下で3%減、定点当たり1.08→1.04。堺市で29例→41例(41%増)、定点当たり1.16→1.64。府下のブロック別でワーストであった。

府下292医療機関(堺市25)から

急性呼吸器(ARI)感染症 11,226例(堺市 1,013例)
大阪府定点 38.45 堺市定点 40.52

急性呼吸器感染症は大阪府で前回より1%増、定点当たり38.19→38.45、堺市で前回より3%増、定点当たり39.52→40.52であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。